

## 質問 QUESTION

### コロナ感染症に備えた町独自の方向性は

## 回答 ANSWER

### 町独自の情報発信ができるよう努めます

町長



いしはら ひでかず  
石原 英一

#### 質問

当町の感染症患者の発生状況は「あんぱちナビ」のアプリなどで知ることはできますが、その後の状況がわからず、また、「自宅療養ゼロ」を指していた岐阜県に自宅療養者支援チームが

できるなどのことから町民から不安の声が上がっています。想定外のこと起きた場合、町で対応せざる得ない状況になる可能性も考えられ、感染症対策は防災と同じ位置づけで町として考えておく必要があると思います。

感染対策の啓発活動はもちろんですが、万が一に備え、町独自でシミュレーションし、医療関係者のアドバイスの下、現在、装備している防災備品や施設に追加装備で対応できるように模索する、また、自宅療養で町対応になる場合も想定し、配食サービス業者や宅配サービスの有るスーパーやコンビニなどと置き配提携を結んでおくなど対策準備を考えては

いかがでしょうか。県と連携しながらの

対応が進めなくてはいけないことは重々承知していますが、今後の感染症に対する町独自の対策への方向性は。

#### 回答

感染後の状況は、町として少しでも情報を公開するように県へ要望しています。

また、県の自宅療養者支援チームに関しては、発生状況に応じて市町村と提携していくこととなっていますが、宿泊療養施設の増床により、自宅療養者を解消する見込みであると発表しており、今のところ市町村への協力依頼はありません。

備品購入や施設整備も重要であると認識していますが、町独自で専用施設を整備するよりも、看護師等が常駐する宿泊療養施設での療養が優先であると考

え、県に対して宿泊療養の整備を要望していきたいと考えます。自宅療養は、基本的に県が対応することになっていますが、万が一のときは、県と連携・調整をして町も支援します。町独自の自宅療養者支援対策として、町

内の事業関係者および災害時等物資協定を結んでいる事業所と調整し、食料や生活必需品の確保・配送について検討します。



新型コロナウイルス関連の情報も発信する「あんぱちナビ」